

学芸研究室 メルキューレ：聖堂を準備する会

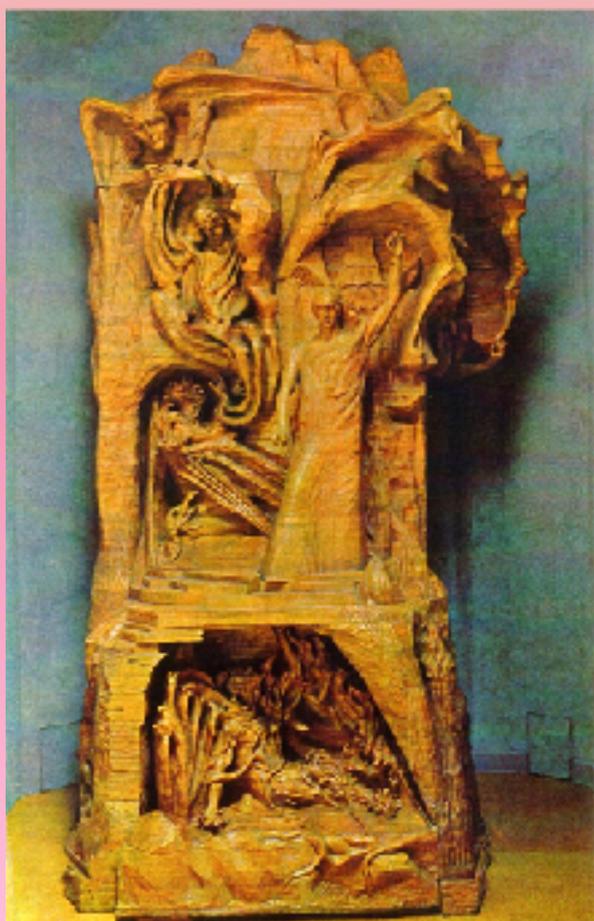
キリスト者共同体学芸セミナー「宗教を新たにとらえる」

第4回 「シュタイナーとキリスト者共同体」

講演「シュタイナーとキリスト者共同体」輿石 祥三 (司祭)

言語形成ワーク「賢者の光と牧者の心—礎石の言葉4連より」岩崎 晴江 (言語形成家)

質疑応答と話し合い「ミカエルとキリスト者共同体をめぐる」



ルドルフ・シュタイナー「人類の典型」

2025年10月13日 (月・祝)

開場 13:00 開始 13:30 終了 17:00

会場：学芸研究室・Mercure

(東急東横線学芸大学駅下車 徒歩5分)

定員：20名 zoom によるオンライン参加あり。

申込締切：10月5日(日) (会場参加は先着順)

参加費：自由なご寄付をお願いします。オンライン参加の方には受付に際して寄付振込先をお知らせします。

申込先：下記申し込みフォームよりお申し込み下さい。

<https://x.gd/JrJBG>

お問合せ：

キリスト者共同体東京集会

〒146-0084 東京都大田区南久が原2-16-19 1F

Mail: tokyo@kirisutoshakyodotai.org Fax: 03-3757-4917

URL: <http://www.kirisutoshakyodotai.org/tokyo.html>



申し込みページ

このセミナーでは、世界のあらゆる領域に生きている「隠れた現実」として宗教をとらえなおし、キリスト者共同体のめざす現代にふさわしい宗教のありかたを探ります。

第4回目のテーマは、「シュタイナーとキリスト者共同体」です。現代にふさわしい宗教のあり方を考える上で、人智学の創始者シュタイナーは貴重な観点を示してくれました。1922年のキリスト者共同体設立もシュタイナーの助言と指導なしには考えられませんでした。シュタイナーとキリスト者共同体にはどのような関係があるか、多くの方がお持ちになる問いではないでしょうか？

セミナーではまず、100年前のキリスト者共同体設立の背景にあったシュタイナーの働きと、人智学と宗教の結びつきについて輿石祥三氏からお話をいただきます。続いて言語形成家の岩崎晴江氏の、認識と信仰を実感するワークがあります。休憩後は、「ミカエルとキリスト者共同体」というテーマで、ご参加の皆様が自由に語り合う時間となります。大きな問題ですからすぐに「正解」を得ることはできないかもしれませんが、参加者お一人お一人の体験から語られる言葉に耳を傾けあうことにより、ミカエル祭にふさわしい雰囲気を感じることができるのではないかと思います。関心のある方の積極的なご参加を心よりお待ちしております。

なお本講座では、六月に涼風書林より刊行されたリッテルマイヤー著『ルドルフ・シュタイナー 我が生涯の出会い』を参考資料として使用します。よろしければ事前にご一読いただけますと幸いです。



『ルドルフ・シュタイナー
～我が生涯の出会い』(涼風書林)

プログラム

13:00 開場

13:30～14:30 講演「シュタイナーとキリスト者共同体」

14:30～15:00 言語形成ワーク

「賢者の光と牧者の心—礎石の言葉4連より」

15:00～15:30 休憩

15:30～17:00 質疑応答と話し合い

「ミカエルとキリスト者共同体をめぐって」



会場：学芸研究室メルキューレ
〒152-0004 東京都目黒区鷹番1-14-16
東急東横線「学芸大学駅」東口より徒歩5分